

「目標を高く」 103人が卒業式

戸田中央看護専門学校

戸田市本町の戸田中央看護専門学校(中村毅校長)の2016年度卒業式が2日、同校講堂で行われた。関係者や保護者が見守る中、看護学科20期生103人が看護の世界へと巣立った。

昨年6月に完成した新校舎の講堂で行われる初めての卒業式。中村毅校長は式辞で「最近是一定の研修を受けた看護師が医師の判断を待たずに点滴等を行えるなど、看護師の裁量権は拡大しつつある。『進歩し続けられない限りは後退していることになる。目標を高く掲げなさい』というナイチンゲールの言葉にもあるように、目標高く看護の道を歩むことを期待している」と学生たちにエールを送った。

卒業生答辞では、山谷香織さんが「臨地実習では自分の

無力さに涙を流したこともあったが、患者さまと関わりを持つことで見えてくるものもあった。患者さまが痛みや悲しみを訴えたときは寄り添い、温かみのある看護師になりたい」と決意を述べた。

戸田中央看護専門学校は1977年の開校以来、3057人の看護師を医療業界に送り出しており、そのほとんどが戸田中央医科グループ傘下の医療機関で勤務している。

(土沢貴弘)



中村毅校長から卒業証書を受け取る看護学生＝戸田市本町の戸田中央看護専門学校